平成31年度　福島県立相馬支援学校　学校経営・運営ビジョン

＝教育目標＝

児童生徒一人一人の能力と特性に応じた力を身につけ、豊かな心でたくましく生きていく人間に育てる。

○自分でやりぬこうとする人
○みんなと仲よくする人
○元気でじょうぶな人

＝基本方針＝

私たちは、本校で学ぶ児童生徒がさまざまな挑戦をとおして、自ら考え、判断し、行動しながら、社会に適応できる力を身に付け、夢を実現することができるよう、以下に示した諸活動に取り組んでまいります。

また本校は、相馬地方に設置された特別支援学校として、在籍している児童生徒はもとより、地域で学ぶ特別な支援を必要とする幼児児童生徒への支援体制を整え、「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進します。

校長　　鈴木　龍也

【重点目標】　児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえた学習を工夫し、習得した知識や技能、各教科等における見方、考え方を活用できるように授業を展開することで、多様な場面に対応できる思考力、判断力、表現力の育成と汎化をめざす。

【高等部】
○一人一人に必要な資質・能力の焦点化による自己理解・自己調整と実践的な知識・技能の習得
○他者の思いの理解と自己の思いの発信、目的を共有して協働できる態度の育成と汎化

【中学部】
○一つ一つの学びを積み重ねるための教材の工夫と授業展開による、基本的な知識・技能の習得
○さまざまな人との関わりの中で互いを理解し合える社会性と人間性の育成と、自ら考え、行動し、伝え合う力の育成と汎化

【小学部】
○指導内容の系統的な位置付けによる連続した学びの保障、基礎的な知識・技能の確実な習得
○多様な人とかかわり合う中で身に付けた知識・技能を活用した、課題解決力の育成

【進路指導の充実：進路指導部・教務部】
○キャリア発達の視点に立ち、小学部段階から「役割」や「働くこと」への関心・意欲を高め、態度を養い、一人一人の進路実現に向けた段階的な取り組みを推進します。
○児童生徒や保護者の願いを踏まえながら、進路に関するさまざまな情報の収集・提供を行い、関係諸機関も交えた共通理解のもとに進路実現を進めます。

【学習指導の充実：教務部・研修部】
○児童生徒一人一人の状態や特性に適切に配慮しながら、「わかる」「できる」授業を目指し、主体的・対話的で深い学びの視点を共有して授業改善に取り組み、生活に役立つ確かな学力を育みます。
○授業の目標や評価の観点を明らかにし、児童生徒自身の振り返り活動を充実させることで、主体的に学びに向かう態度を育みます。

【生徒指導の充実：生徒指導部】
○児童会・生徒会活動を充実させ、児童生徒の自主性や規範意識の育成に努めます。
○SNS等に関するトラブルやいじめ、性に関する課題等について、児童生徒一人一人と細やかなコミュニケーションを図りながら、未然防止や早期発見・対応に努めます。また、必要に応じてケース会議や支援会議を開催し、組織的、計画的な対応に努めます。

地域を「つなぐ」
必要な支援を「つづける」
系統的に学習を「つみあげる」

【地域支援の充実：地域支援センター】
○教育、福祉、医療、行政等の関係機関と連携しながら、地域における特別な支援を必要とする児童生徒の支援に必要なニーズを明らかにし、組織的、計画的に支援体制整備を図ります。
○研修会やセミナーを実施し、地域の幼稚園、小中学校、高等学校における指導支援の充実に努めます。

【健康教育の充実：保健部・渉外部】
○望ましい運動習慣や食習慣の形成を目指し、体力向上や肥満防止について家庭や関係機関との連携を図りながら、健康な心と体の育成に努めます。
○児童生徒の健康観察をていねいに行うとともに、スクールカウンセラー等を活用した相談を充実させ、家庭と連携を図りながら、心と体の健康づくりに努めます。

★同僚性
学び合う組織
服務倫理

★専門性
授業の質の向上
ファシリテーション力

【安心・安全】　○校舎内外、教室等の環境整備や、さまざまな事態を想定した体制を確立するとともに、必要な情報提供に努めます。
○人権を尊重した指導・支援を行うとともに、不祥事を未然に防ぐために教職員同士の連携を図りながら、セーフティネットの機能を高めます。